土地改良事業計画設計基準及び運用・解説「ポンプ場」(平成30年5月版)の技術書 正誤表

(令和5年10月:傍線部分は改正部分)

ページ・ 行	誤	正		
p. 785 図-16. 20 (c)	Q k g 立軸電動機 図-16.20(c) 立軸電動機駆動立軸ポンプの床面長さ	<u>E</u> <u>A</u> <u>B</u> <u>A</u> <u>B</u> <u>A</u> <u>B</u> <u>A</u> <u>B</u> <u>A</u> <u>B</u> <u>A</u> <u>B</u>		
p. 785 2 行目	ポンプ軸中心から反吐出管側柱中心までの寸法 $\underline{\ell=h+g}$ ここに、 $\underline{h}:$ ポンプ軸中心から立軸電動機端の寸法もしくは架台端寸法 の大きい方 $\underline{g}:$ 立軸電動機端部から <u>柱中心</u> までの寸法 $\underline{(解説表 3.14)}$	ポンプ軸中心から反吐出管側 <u>壁(又は柱)面</u> までの寸法		

ページ・ !	誤			正		
行 p. 785 表-16. 9	表-16.9 <u>電動機関端部</u> から <u>柱中心</u> までの概略寸法			表-16.9 <u>電動機端部</u> から <u>壁(又は柱)面</u> までの概略寸法		
		12 以上~150 以下	単位 mm 150 超~600 以下		12 以上~150 以下	単位 mm 150 超~600 以下
	<u>g</u>	2,500	3,000	<u>c</u>	2,500	3,000
	器等) の設置ス/ 値である。よっ に縮小できる場	は吸水槽形状から決まる棒	1.5m を考慮して定めた っては <u>g</u> 寸法は 2m 程度	注 1) \underline{c} 寸法は通路の確保として $1.5m$ 程度で、電動機付属器(抵抗器等)の設置スペースとして口径別に $1\sim1.5m$ を考慮して定めた値である。よって、系統機器の配置によっては \underline{c} 寸法は $2m$ 程度に縮小できる場合もある。また、 \underline{B} 寸法は吸水槽形状から決まる構造寸法と比較の上、大きい方を採用する。		
p. 785 7 行目	<u>h</u> 寸法には電動機の	の点検用階段の寸法も含	i むものとする。	<u>a</u> 寸法には電動機(の点検用階段の寸法も含	うむものとする。